

# 市議会新役員が決定

10月末の第5回市議会(臨時会)で選出  
議長に安田忠司さん、副議長に秋田修一さん

問合せ 市議会事務局総務課 Tel(740)1250



鈴木光義 監査委員



秋田修一 副議長



安田忠司 議長

議長には安田忠司さん(73)が、副議長には秋田修一さん(53)が選ばれました。議会選出の監査委員には鈴木光義さん(62)が選任されました。また、合わせて、議会運営委員会をはじめ、3つの常任委員会、3つの特別委員会の委員が選出されました。

## 新しく決まった市議会の各種役員 (敬称略)

委員会名	委員長	副委員長	委員
議会運営委員会	久保義孝	江見輝男	宮坂満貴子、西山博大、黒田美智、津田加代子、平岡譲、小山敏明、上田弘文
常任委員会			
総務生活	北上哲仁	住田由之輔	吉富幸夫、加藤仁哉、江見輝男、安田忠司、多久和桂子、上田弘文
厚生	大崎淳正	岡留美	宮坂満貴子、西山博大、秋田修一、北野紀子、斯波康晴、平岡譲、小山敏明
建設	森本猛史	福西勝	鈴木光義、黒田美智、米澤拓哉、津田加代子、大矢根秀明、坂口美佳、久保義孝
特別委員会			
飛行場対策 周辺整備調査	江見輝男	津田加代子	住田由之輔、森本猛史、秋田修一、福西勝、平岡譲、坂口美佳
まちづくり 調査	大矢根秀明	北野紀子	大崎淳正、北上哲仁、吉富幸夫、米澤拓哉、斯波康晴、安田忠司、久保義孝
新名神高速 道路周辺対策	加藤仁哉	多久和桂子	鈴木光義、宮坂満貴子、西山博大、黒田美智、岡留美、小山敏明、上田弘文
猪名川上 施設組合	流広域ごみ処理 協議会	み処理 議員	宮坂満貴子、加藤仁哉、黒田美智、斯波康晴、津田加代子、平岡譲、多久和桂子、上田弘文、久保義孝

## 未来の川西を漢字一文字に込めて 揮毫するのはサッカー選手の呉屋大翔さん Jリーグでの活躍を期待

問合せ 行政経営室 Tel(740)1120

皆さんにこの1年の川西での出来事を振り返ってもらい、さらに連想される来年へとつなぐ言葉を、漢字一文字で募集します。選ばれた漢字は、市出身で28年4月から新加入選手としてガンバ大阪と仮契約を結んだ、関西学院大学サッカー部4年の呉屋大翔さんが揮毫し、市役所1階インフォメーション横に掲示します。

対象は市内在住・在勤・在学者。応募は任意の様式か市ホームページ掲載の応募様式に、未来を「漢字」(感じる)漢字一文字と選んだ理由、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を書き、12月15日(火)(消印有効)までに〒666-8501・市役所4階の行政経営室へ持参か郵送を(ファクス(740)1315・メールkawa0176@city.kawanishi.jp可)。



### 未来を漢字(感じる)一文字

漢字募集は21年から実施。22年までの2回は「川西市今年の漢字」として募集し、年末に揮毫を行っていた。しかし、過去を振り返るだけでなく、未来へつながる一文字を選出するために、23年からは「未来を漢字(感じる)一文字」という名称で募集している。これまで、プロテニスプレーヤーの奈良くるみさん「金」や、22年は当時報徳学園高等学校野球部で、甲子園で活躍した越井勇樹さん「輝」、シンガーソングライターのTeNさん「光」、宝塚歌劇団雪組のトップスターとして活躍した壮一帆さん「始」、ドイツバイエルン国立歌劇場専属歌手として活躍する中村恵理さん「幸」が揮毫。昨年はプラントハンターの西島清順さんが「咲」を揮毫した。

## 川西市長の あんばい話

一年の締めくくりに未来を想う  
まちのイメージを漢字に込めて



年の瀬の12月。特に年末は、新年を迎える準備で、買い物に出掛けることが多くなります。市では、国の交付金を活用して、地域における消費を喚起し、市内産業の活性化につなげようと「きんたくんプレミアム付商品券」を6万冊、7億2千万円分発行しました。11月末で約8割が使用されています。ぜひ、使用期限の年末までに活用していただきたいと

### 大塩民生

思いです。また、分かりやすくまちのイメージを伝えようと、一年の締めくくりに、川西での年間の出来事を振り返り、翌年へつなぐ言葉、漢字一文字を毎年決めていきます。今回で7回目となる「未来を漢字(感じる)一文字」です。始めの年は、川西の元気を表すのにふさわしいことから、きんたくんの「金」。2年目は、市出身の方々が全国で活躍し、輝いておられることから「輝」を。東日本大震災があった年には、その復興の「光」。市の総合計画始動の年には「始」。市制施行60周年の年は、市民の幸せが続くことを願う「幸」。そして、昨年は、今後の更なる発展をめざし、わがまち川西が咲き誇る存在であってほしいと「咲」の字が選ばれました。未来の川西をイメージする一文字。今回はどんな漢字に決まるのか、今から楽しみです。

## 11/4 市民文化賞・スポーツ賞を贈呈

文化賞に文芸評論家でコラムニストの木津川計さん  
スポーツ賞に小野昭憲さん



木津川計さん



小野昭憲さん

市民文化賞・スポーツ賞  
文化賞は、特に文化の向上発展に貢献したものに贈られ、スポーツ賞は、優秀な成績を収めたものやスポーツ振興に特に貢献しその功績が顕著なものに贈られる。

木津川さんは、立命館大学を退職後、「木津川計の一人語り劇場」を通じて文芸作品を広く紹介。多くの市民に文芸作品の楽しさや語りの面白さを浸透させ、芸術文化の振興に貢献しています。また、「川西市生涯学習短期大学レフネック」の学長として、長年、市の生涯学習振興にも携わっています。小野さんは、障がいを抱えながら10年以上にわたって卓球競技を続け、26年11月1・2日に長崎県で開催された「全国障害者スポーツ大会」で2位の成績を収めました。その姿はさまざまな人に勇気を与え、障がい者スポーツの振興に寄与してきました。